



# 営農サポート通信 第8号

平成 24 年 9 月 営農企画室：営農サポートチーム

## 営農に関する様々なご相談を手助けします！！

組合員宅に出向く職員として、『営農サポーター』が新設され一年半が経過しました。日頃、農作業のお忙しい中、私達の訪問に時間を都合していただき感謝申し上げます。これからも組合員の皆様に喜ばれるように、営農相談の解決や営農情報の発信に取り組んで参りたいと思っております。ささいな事でもかまいませんので、私達「**営農サポーター**」にご用件をお申し付け下さい。

- ◆ 除草・病害虫対策・肥培管理に関するご相談。園芸資材（肥料・農薬）のお見積り。
- ◆ 新規作物・規模拡大・契約野菜等のご相談。
- ◆ 次期作物のために土壌診断も引き受けます。
- ◆ 融資、補助事業、免税軽油に関するご相談。（農業に関することは何でも引き受けます）

（営農サポートチーム：猪俣、内村、横山 電話38-6693）

## 生産資材情報

宮崎でつくる、宮崎のための**経済的**な肥料をご紹介します。

### ★BB 有機オール8号★

価格  
**1,481 円**



### ★BB 有機オール12号 ★

価格  
**2,006 円**



### 【成分】

肥料名	チッソ		リンサン	カリ
BB有機オール 8	8.0	アンモニア性 7.0	8.0	8.0
BB有機オール 12	12.0	アンモニア性 9.0	12.0	12.0

### 【特徴】

- ★原料を混ぜる製法（Bulk Blending）を採用しています。
- ★野菜の元肥として県内で広く使用されています。
- ★有機由来原料を配合しています。



## 加工ほうれん草

JA 都城では、今年作付面積 35ha を目指しています。作付け希望者を若干名募集しています。播種後の肥培管理については、害虫防除（アブラムシ、ヨトウ虫類）としてランネート 45DF（収穫 14 日前まで）、アグロスリン乳剤（収穫 7 日前まで）を散布する。9 月播種は生育が速く 11 月には収穫となるため、使用時期を間違えないよう注意して散布する。べと病対策では Z ボルドーで予防を行う。

## 加工にんじん

### ◆ 除草作業

時期	除草剤名	使用薬量	使用水量	使用上の注意
生育期 (3葉期以降)	ナブ乳剤	150~200ml	100L	にんじん3葉期以降で雑草発生時に、2剤を混用して散布する。
	00 ック入水和剤	100~150g		

### ◆ 間引き

4~5 葉期（播種後 35~40 日頃）に株間 5~7cm 位になる様間引きを行う。

### ◆ 中耕、土寄せ、追肥

播種後50日頃、茎葉で通路がふさがる前に、通路にBB追肥2号を10aあたり30kg散布。中耕と青首の防止を兼ねて生長点が埋まらない程度に土寄せを行う。

### ◆ 生育中のかん水

生育中期（9~10月）は、根の肥大が始まるので土壌が適湿になるよう努める。6日間断で1回に15リットル（15t/10a）を基準とする。

## 水稲情報 8月15日現在における生育及び作柄概況（農林水産統計より）

### 【普通期水稲】

生育は田植後の日照不足からやや軟弱気味の生育となり、その後も曇雨天で推移したことから、分けつが抑制され茎数は少なくなり、作柄は「やや不良」となっております。病害虫はウンカ類が多く飛来しています。県の防除警報も出ましたので注意しましょう。

★収穫適期は、穂が8割程度黄化した頃とされています。ほ場を確認し、収穫5日前には落水し、収穫しましょう。

### 収穫適期

#### ● 10月上旬

・ヒ/ヒカリ：出穂後40日後頃が収穫適期

#### ● 10月下旬~11月上旬

・まいひかり：出穂後45日後頃が収穫適期

★収穫前の防除は、残留農薬に注意し、薬剤を選んで散布しましょう。

### 収穫前の防除

・収穫7日前まで使用できる農薬  
→ ウンカ類・・・トシボン粉剤、スタークル粉剤等

・収穫14日前まで使用できる農薬  
→ 紋枯病・・・バリダシン粉剤



JA 都城では、今年も米の全量集荷運動を行います。「都城米」としての産地を確立し、生産者の所得確保を目的としております。組合員各位のご協力をお願い致します。

※収穫の秋です。忙しい日々が続きますので、万全な体調で作業を行いましょう。尚、農機具での事故が多発していますので、トラクター作業、草払いを行う際、十分に気をつけましょう。まだまだ暑い日が続きます。十分な水分補給を行い熱中症に注意してください！

